

100年の歩み

岐阜県農業技術研究所

それでは、これから100年の歩みを映像で追ってみたいと思います。

なつかしい場面も出てくるとおもいます。
ご覧頂きましょう。

沿革

- | | |
|-------|------------------------|
| 1901年 | 岐阜県農事試験場創立（現在の岐阜市京町） |
| 1904年 | 岐阜市加納（当時稲葉郡加納町）に移転 |
| 1925年 | 現在地 岐阜市又丸（当時本巣郡七郷村）に移転 |
| 1957年 | 岐阜県農業試験場に改称 |
| 1962年 | 海津郡海津町に南濃試験地設置 |
| 1968年 | 揖斐郡池田町に池田試験地設置 |
| 1986年 | 岐阜県農業総合研究センターに改称 |
| 1999年 | 岐阜県農業技術研究所に改称 |

これは、農業技術研究所の100年の歩みの概要です。

1901年に岐阜県農事試験場が岐阜市京町において創設されて以来、現在の農業技術研究所に至る経緯が記載されています。



岐阜県農事試験場

創立当時の試験場

これは現在残っている創立当時の唯一の写真です。

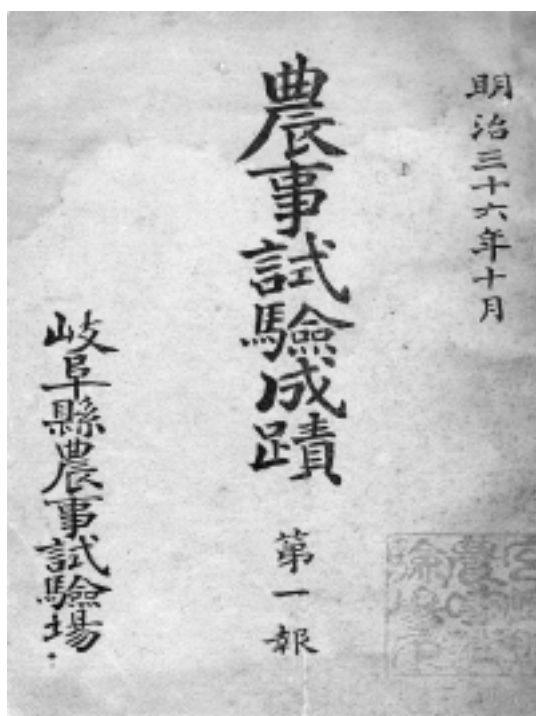
明治37年の成績書から引用したのですが、岐阜市京町のものか、岐阜市加納に移転後のものか明確ではありませんが、次にご覧いただく当時の試験場全図から推察して加納に移転後のものと思われます。



農事試験場全図(明治44年)

これは、明治44年、岐阜市加納における試験場の全体図です。

水田面積が最も広くなっていますが、桑園の面積も広く、当時の農業における米と養蚕の重要性が伺われます。

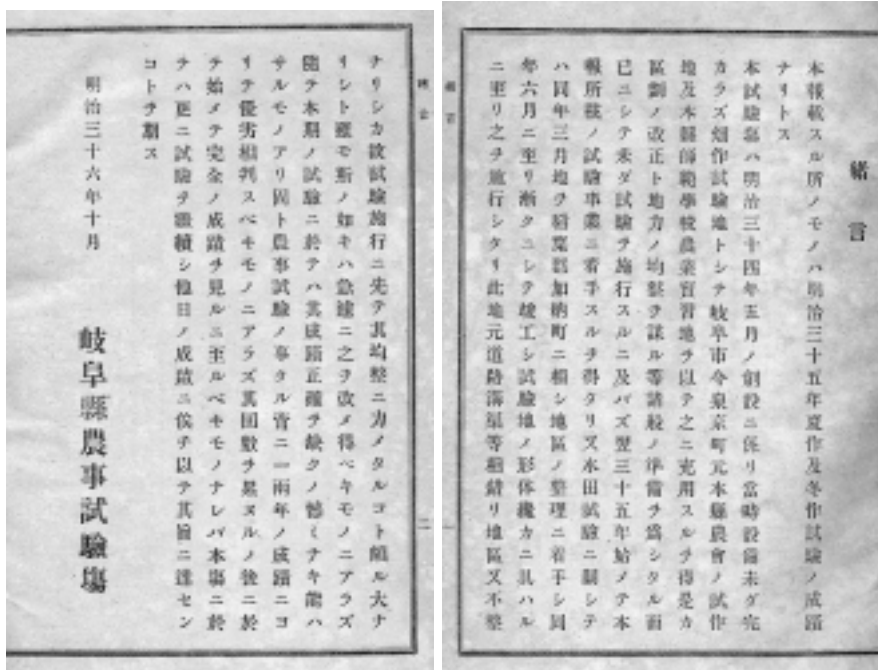


試験場成績書第1号表紙

これは記念すべき試験場の第1号の成績書です。

明治36年（1903年）10月と記されており、試験場創設の1年半後に発刊されています。

内容については次のスライドで若干ふれております。



第1号成績書緒言

これは、第1号成績書の緒言です。

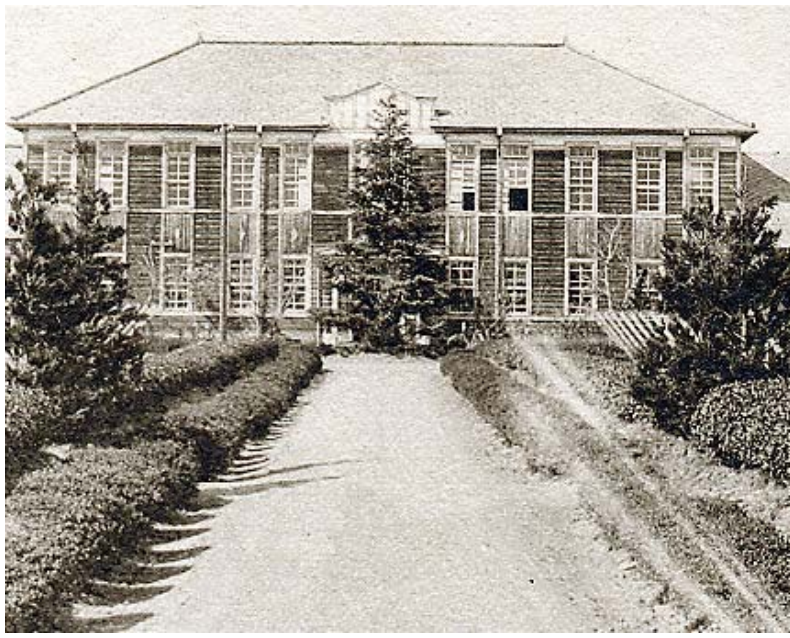
試験場を開設して間もないので、地力の均一性に欠けることから正確なデータとは言えないが、今後試験を継続し、データを蓄積する中で正確な成績としたい旨が述べられています。

農事試験成績第一報	
夏作試験	
水稻之部	
耕種ノ成績	一
第一 種別試験	四
第二 肥料関係試験	二二
第三 宗重基肥野試験	三三
第四 磷酸質肥料試験	二六
第五 肥料別量試験	二七
第六 移植期試験	二八
第七 分蘖試験	三〇
第八 分抽試験	三五
第九 豊凶考査試験	三六

第1号成績書目次

これは、第1号の成績書の目次です。

水稻における品種比較試験、施肥試験、移植期比較試験、作況試験等の成績目次がご覧いただけます。



戦災による焼失前の本館(昭和11年)

これは、加納から現在の又丸に移転した当時の本館の写真です。この建物は、昭和20年に戦災により焼失しました。

高い軒先の立派なものでありました。本館に向かう進入路は、現在とあまり変わらないように見られます。



品種試験用水稻の播種・育苗(昭和10年代)

これは、昭和11年の講習所の卒業アルバムにある品種試験用水稻の播種、育苗の風景です。

数多い品種を1粒1粒播種板を用いて播種している様子や、多数のラベルが立っている苗代を管理している様子が見られます。



麦栽培試験

これは、磁器のポットを用いて麦の施肥試験を実施している様子です。

昭和10年代においては、麦は重要な作物であり、栽培試験にも熱が入っていたようです。